

旅館業における激突され災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	12~13	洗い場で皿を洗ったのち、台車に大量の皿を乗せて、収納するために移動した時、左側に傾いたので左足で止めた。そのあと膝が痛み、湿布と痛み止めの薬を使用したが、徐々に痛みが強くなり、歩けない状態になった。	62	30~49
1	10~11	客室において清掃作業中、回収した酒の空き瓶（1合）1本を入れたゴミ袋を持ち、次の部屋に移動していたところ、袋がブラブラと安定しておらず、瓶の底が左膝下部に激しくぶつかってしまい負傷した。	61	50~99
7	15~16	3階宴会場にて、宴会の後片付け中、1人でテーブルを移動・たたむ作業をしていたところ、テーブルが傾きテーブルの下の金具部分が眉間の下部に当たり、横に切れた。	38	10~29
7	15~16	プールのライフガードとして、ウォータースライダーの着水プールで工作中、2人乗りのボートが滑り下りてくる途中で転覆し、乗客2人は滑り下りてきたが、ボートがスライダーの途中で止まった状態になった。ボートを回収するためにスライダーに登り、回収したところ、次のボートが滑り下りて来て避けきれず、被災者の足に衝突し、右肩辺りからスライダーに転倒して負傷した。	29	50~99
9	20~21	地下1階洗い場にて、陶板（1個約280g）を洗いあげ、これを収納ケース1箱に120個入れ、高さ120cmの台車の上に格納しようと床面より持ち上げたところ、この収納ケースが本人側に傾き、ケースの縁の部分が右胸部を圧迫した。このとき、右胸部を骨折した。本来、この業務は収納ケースに50個を目安収納しているが、倍以上の個数を収納したため、重みにたえきれず、収納ケースが傾いたことによる事故であった。	56	10~29

10	9~ 10	お客様出発のお見送りの為、正面玄関前に立っていたところ、マイクロバスがバックしてきて腰の辺りにぶつかった。当初は打撲程度で済んだと思っていたが、痛みがなかなか引かなかった。	66	100 ~ 299
11	15~ 16	ホテル3F中華厨房内において、仕込み作業中に立場上部下である方に仕事の事で注意をしたところ、逆上し、首の右後に片手鍋を投げつけてきた。痛みとめまいにより、その場に倒れ込む形になり、1日様子を見たが変わらず緊急で受診した。	30	100 ~ 299
12	19~20	ホテル客室の掃除をしている時、テーブルとソファの間があいていたので手前に引いたところ、重いテーブルだったので力を入れて引っぱった際、足の親指にあたって爪がはがれた。	64	10 ~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html